第3回 楽器別交歓会

第3回楽器別交歓会の最新情報

来る5月29日（月）に葛飾シンフォニーヒルズにて催される第3回楽器別交歓会の最新情報についてお知らせします。

* 参加者：70名
* **弦楽合奏の部**：参**加者41名**

指揮指導：五十嵐淳先生

Vn1（13）Vn２（13）Va（４）Vc（６）Mn（1）Gu（２）Pf（1）　計40名

＜曲目＞① パッフェルベルのカノン　② モーツァルトのアイネクライネ第1楽章
③ モーツァルトの交響曲25番第1楽章

* **管打鍵盤楽器の部**：**参加者29名**

指揮指導：鴨井次郎先生

Fl（９）Tp（１）Hr（１）Ax（３）Cl（8）Kb（３）Ac（１）Drs（１）Pf（１）計28名

＜曲目＞① アフリカンシンフォニー　② シルクロードのテーマ
③ ドビュッシーのゴリーウォッグス　ケーキウオーク

＜備考＞

1．譜面台は不要です。当日の持参品は楽器、譜面、弁当、会費です。
2．会費は各団　まとめて受付にてお支払いください。
3．管打鍵盤楽器に指導者の横林歩先生（茂原、流山、我孫子）と斎藤良先生（あすなろ）が参加されます。お2人から「何かお手伝いをしたい」という有難い申し入れを頂きました。ご期待ください。
4．当日の模様は宮崎正理事がカメラ撮影します。
5．懇親会には24名が参加します。

追悼文

高橋昭五さん　ありがとう！

当連盟の副理事長兼事務局長の高橋昭五さんが去る3月9日に急逝されました、享年86歳。彼が3代の理事長の事務局長として20年以上に亘って活躍した全シ連の「25周年記念誌」の発行直前の他界でした。私が理事長を引き受けて9年間、副理事長兼事務局長として総会、全国大会、楽器別交歓会、理事会など周囲の助けを借りずに彼1人で全て処理してこられたバイタリティーと熱意には感心していました。彼を前に「あなたには頭が上がらない」と感謝していました。パソコン、携帯電話、スマホを持たずにワープロ一つでこんなに多くの書類を作成して投函してこられました。正に3人分の仕事です。スゴイ人でした。理事会などの会議にはいつも一番早くから出席されていました。ハワイ行きの時も成田空港に一番乗りでした。通常のSE活動も土曜日に葛飾、日曜日に午前中は足立（代表を　年間務められた）午後が江東と3楽団のキーボードの中核としてその正確な演奏には指揮者が大きな信頼を寄せていました。私は45年くらい前に彼が足立区立小学校の音楽担当として区の音楽教育研究会の部長を務めておられる頃から知っていました。彼は物静かで社交的ではない印象でしたがその当時から子供たちの為に多くの、器楽合奏用の編曲物を作っており、それらを10年くらい前から全シ連の参加団体に「高橋シリーズ」として無料で配布されました。世界民謡めぐり、ヨーロッパ編など新楽団にとって、如何に有難かったか？　彼は北海道函館の教育関係の大学に入ってからベートーヴェンのピアノ曲に魅せられ猛然とピアノの練習に打込み音楽教育の道に進んだそうです。この事に対して北海道の高橋家の人々は「男は音楽をやるべきではない」と反対したと伺っていますが、彼の社会に果たした貢献は計り知れません。あっぱれです。安らかにお眠り下さい。合掌

（全シ連　岡村斉能　記）